

七宝焼（しっぽうやき）

【活動可能人数：54人】
【活動時間（めやす）：3時間】
【材料費：550円】

1 七宝焼きとは

金属工芸の一種で、銅・銀などの金属の表面にガラス質の釉薬（うわぐすり）を焼き付けた伝統工芸品。七宝焼きの「七宝」とは、七つの宝という意味で、仏教の経典にある七種類の宝をちりばめたように美しいものという意味で名付けられたという説があります。焼津青少年の家では、小判型のキーホルダー、蝶、葉のブローチの3種類から1つ選んで七宝焼きを作ります。

2 準備物（本所で用意します。）

- <個人> ・素地盤（キーホルダー、蝶、葉のブローチから1つを選ぶ） ・作業板
<グループ> ・七宝絵の具（透明、不透明） ・ホセ（竹の串）
・灰皿（黄、赤、青） ・スプーンの入ったびん

3 作り方

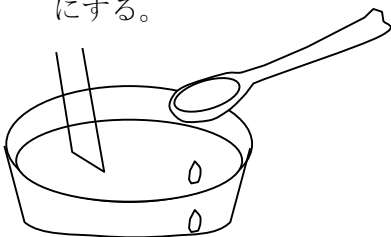
(1) 準備をする

- ① 準備物を各テーブルに用意する。
- ② 黄と赤の灰皿に水を入れておく。（絵の具への水補充用、ホセ洗い用）

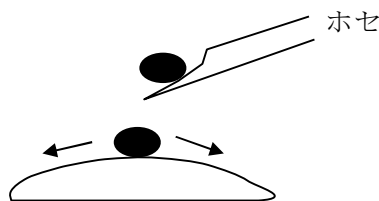
(2) 素地盤に絵の具を盛る（約1mmの厚さで、全体にムラなく盛る）

- ① 透明の絵の具皿にスプーンで水を入れ、シャーベット状にする。
- ② 絵の具をホセにとり、素地盤にのせて広げる。
- ③ 約1mmの厚さにする。

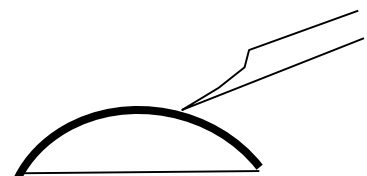
①絵の具はシャーベット状にする。



②絵の具をホセにとり、素地盤にのせて広げる。



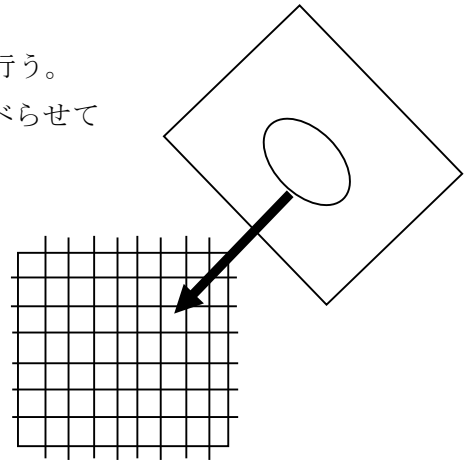
③ 約1mmの厚さにする。



- <ポイント>
- ・ 絵の具が乾燥していたら、水を加える。
 - ・ 素地盤は必ず作業板の上に置いて作業を行う。
 - ・ 銅色の部分はさわらない。（手の油が付くと変色する）
 - ・ キーホルダーの銀色の台は、必ずはずしておく。

(3) 焼く（1回目） ※焼く作業は、所員と団体指導者が行う。

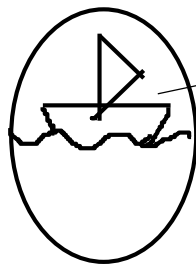
- ① 絵の具がかわいてきたら、素地盤を作業板からすべらせて金あみの上のにせる。
- ② 1分程度焼く。
- ③ 焼き終わった後、5分程度は熱いので注意する。



(4) 絵や文字、デザインを描く

- ① 不透明の絵の具皿にスプーンで水を入れ、シャーベット状にする。
- ② 素地盤が冷めてから、絵やデザインを絵の具で描く。

<ポイント>



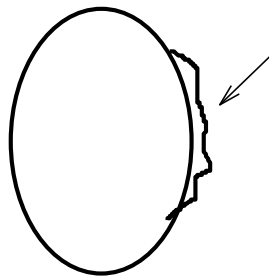
焼くと絵の具が若干広がるので、あまり細かなものでない方がよい。

(5) 焼く（2回目）

- ① 1回目と同じように焼く。

(6) バリをとる

- ① 素地盤からはみ出たところをやすりで削る。^{けず}
※力を入れすぎると割れてしまうので注意。



バリ
※ブローチの場合は削らなくてよい。

(7) ボンドで接着する

- ① 「キーホルダー」は台に素地盤を接着する。チェーンも取り付ける。
- ② 「蝶」「葉」は、安全ピンを裏に接着する。

(8) 片付けをする

- ① 使った絵の具皿を箱に戻す。
※ 水がたくさん入っている絵の具皿の水は、青の灰皿に入れてください。
- ② 灰皿の水を流しにこぼす。
※ 青の灰皿の水は、流しのバケツの中にこぼしてください。